

平成 24 年度第 6 回魚津市行政改革推進委員会会議録

日 時	平成 25 年 3 月 11 日 (月) 午前 9 時～午前 10 時 33 分	
開催場所	魚津市役所 2 階第 1 会議室	
出席者	<p>【魚津市行政改革推進委員】</p> <p>中村和之、慶野達二、青山芳枝、浅野朱実 岩井哲雄、岡本安克、吉田譲、若林忠嗣</p> <p>【事務局】</p> <p>沖本企画総務部長、殿村総務課長、新浜財政課長、南塚総務課長代理 宮崎財政課長代理、広田総務課主任</p>	
欠席者	なし	
開催形態	公開（傍聴者 1 名）	
議 題	<p>○議事</p> <p>1 中間取りまとめ（案）について</p> <p>2 その他</p>	
会議概要 9 : 00	事務局	<p>○議事</p> <p>皆様、おはようございます。これより、第 6 回魚津市行政改革推進委員会をはじめていきたいと思ひます。</p> <p>本日は、今月中に公表する予定としております中間取りまとめにつきまして、その記載内容や表現などを委員の皆様にご確認いただきたいと思ひております。</p> <p>なお、本日の会議は、遅くとも 11 時 30 分までには終了したいというふうを考えておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、この後の進行は会長にお願いしたいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p>
	会長	<p>改めましておはようございます。</p> <p>本日は、年度末のお忙しいところ、しかも朝一からお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日の議題は、先ほど事務局からお話がありましたように、中間取りまとめの案についての検討でございます。</p> <p>それから、これからの進め方について若干ご意見をお伺ひしたいことがございます。</p> <p>それでは、最初に事務局のほうから中間取りまとめの内容につきまして、ご説明をお願いします。</p>
	事務局	<p>それでは、中間取りまとめについて、事務局より簡単にご説明させていただきますが、時間の都合もござひますので、ひとつずつ読んでいくことは省略させていただきますして、構成や主な内容のみご説明させていただきます</p>

たいと思います。

まず、中間取りまとめの本編のほうをご覧ください。

1枚めくっていただいたところに、委員会を代表しまして、会長名により「はじめに」を冒頭に載せてございます。

ここでは、まず最初のほうで公共施設の問題が全国的な課題であること、そして、またそれは魚津市も例外ではないということを冒頭のほうに記載してございます。

また、魚津市の現状と、魚津市を取り巻く環境の変化などこの委員会で公共施設のあり方を検討することとなった経緯などについても簡単に触れております。

最後のほうでは、この中間取りまとめの内容と、市民へのお願いといった形で締めくくっております。

次のページが目次となっております、また1枚めくっていただいたところに1ページ目として、委員会の目的と、市の計画との関係について載せてございます。

まず、目的のほうでございますが、若干「はじめに」とかぶるところもございませうが、公共施設以外のインフラについても老朽化に伴い更新していく必要があるということを盛り込んでおります。

最後のほうでは、インフラも更新が必要だが今回は施設に絞り込んだということと、また、この委員会の中でもよく話しに出ておりましたが、施設の機能に着目するということによって、公共施設のコストとサービスの質と量を見直すといった内容になっております。

次に、魚津市の計画との関係ですが、そもそもこの委員会の取組みというのが、何も無いところからスタートしたわけではなくて、市の総合計画に関連した取組みであるということをごここに記載いたしました。

次に2ページ目をご覧ください。

公共施設に関する魚津市の状況についてということで、目次を見ていただければ分かるかと思いますが、人口と財政状況、そして公共施設の総論部分をこの公共施設に関する魚津市の状況についてのなかに盛り込んでおります。

というのも、人口、財政状況、公共施設をそれぞれこうだと別々に説明してもバラバラでなかなか分かりづらいところもあるのではないかとということで、14ページにあります全体整理という形で最後にまとめたいと思ひまして、こういうスタイルにさせていただきました。

この公共施設に関する魚津市の状況についてのなかでは、それぞれ各項目ごとに、ページの頭のほうで、重要な内容だとか、主に言いたいことを濃い書体で載せてございます。

	<p>それ以外のグラフや文章につきましては、これまでに委員の皆様にお示しした内容と基本的には同じ内容となっておりますが、変わった箇所というのがグラフにコメントを足し込んだところや、4ページ目については、当初予算を平成24年度から25年度へ変更しているところでございます。</p> <p>ほかには、10ページのグラフも変更させていただきました。</p> <p>そのほか、13ページの棒グラフも追加しております。</p> <p>ここで、公共施設に関して訂正がございまして、9ページをご覧いただきたいのですが、そちらの方に施設の一覧表を載せてございます。</p> <p>中間取りまとめを作成するにあたり、再度見直しを行ったところ、その中の市営住宅とその他の部分で誤りがありまして、建物については、その他のうち1施設の面積が40㎡ほど異なっておりましたので、その分が増えております。</p> <p>また、土地の面積についても市営住宅とその他の部分で修正がございましたので、この場をお借りして訂正させていただきます。</p> <p>それでは、次に14ページのほうをご覧ください。</p> <p>先ほども若干申し上げましたが、人口や財政状況、公共施設について、それぞれ別々に記載されていると分かりづらいだろうということで、この14ページのほうで全体整理としまして、人口、財政状況、公共施設の主要な内容をこちらのほうにまとめたかたちで記載させていただくことになりました。</p> <p>続いて15、16ページをご覧ください。</p> <p>こちらのほうでは、人口、財政状況、そして公共施設の総論部分について、この委員会において出された各委員の皆様からのご意見をこちらのほうにまとめさせていただきました。</p> <p>といいますのも、ただ課題を整理して市民へ公表するだけでは若干分かりづらいだろうと考えまして、市民にある程度判断したり考えたりしてもらうときには少し委員会の意見などがあつたほうがイメージしやすいだろうということでこのように載せさせていただきました。</p> <p>続いて17ページをご覧ください。</p> <p>分類別公共施設の状況についてでございます。</p> <p>16ページまでの公共施設については、あくまで施設の総論部分であり、17ページ以降においては各分類別に公共施設の概要、課題、そして委員会としての意見を載せております。</p> <p>続いて、飛びまして30ページのほうをご覧ください。</p> <p>こちらのほうでは、29ページまでのなかで整理した人口、財政状況、施設の総論部分と各論部分を踏まえ、検討の方向性として3点にまとめて記載させていただいております。</p>
--	---

	<p>今後は、この検討の方向性を踏まえ、各施設の方向性などを打ち出していくということになります。</p> <p>本編については、以上となります。</p> <p>続きまして、資料編についてであります。資料編は、これまで委員の皆様にお示ししてきましたデータを分類別にまとめた内容となっております。</p> <p>施設位置図については、最後のほうにまとめさせていただきました。</p> <p>それでは最後に、1枚ものの概要版についてであります。概要版は本編をまとめた内容となっておりまして、横の流れで人口、財政、施設を整理しており、縦の流れで現状と課題、そして3点の検討の方向性を載せてございます。</p> <p>概要版については、市の広報にも載せていきたいというふうに考えておりますので、その点も踏まえてご意見などいただければと思います。</p> <p>事務局からの説明は以上となります。よろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>大変ボリュームのある中間取りまとめでございますが、本日はこの中間取りまとめの案が取れた形にまで持っていければというふうに考えております。</p> <p>お気付きの点がございましたら、どなたからでも結構でございますので、ご意見等頂戴できればと思いますが、いかがでございますか。</p>
<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>ひとつ、私のほうから聞きたいのですが、本編の14ページ全体整理の一番下のところで、これは確か一回目の委員会でも話が出たと思うのですが、社会保障経費の増加などにより年間13億円の財源不足と、更新等経費が年間6億円であるから将来的に年間13億円必要であることを考慮したら7億円の財源不足ということで、合わせて20億円という理解でよろしいでしょうか。</p> <p>平成47年時点では20億円の財源不足ということです。</p> <p>中間取りまとめは、市民に公表して意見をもらうわけですけど、この平成47年という1点を捉えてみると非常にインパクトが弱いのかなと思います。累積の赤字といいますか、そういうものを少し表現したほうがいいのではないかと思います。</p> <p>また、8ページのほうで、人口減少による市税の減少と高齢者の影響で社会保障経費が増加するということにより、47年度において13億円の財源不足になるということになります。</p> <p>ここでは、5年ごとに推計を出していることから、累積というのは難しいのですが、大枠で47年度までにはこれだけの赤字が出て大変なことになるといったことを表現したほうが、インパクトを与えるにはいいのでは</p>

<p>A委員</p> <p>事務局</p> <p>B委員</p> <p>C委員</p>	<p>ないかと思えます。</p> <p>ただ、その47年時点の20億円を少ないとみるか多いとみるか、実際問題として20億円の財源不足があったときに、どう手立てするかというと、魚津市にはその手立てをする策はないだろうと思っております。</p> <p>また、大きい数字だけを出して不安感をあおるようなことがいいのかどうかということもありますので、そういったところも委員の皆様のご意見をお聞きしたいと思えます。</p> <p>単年度で20億円というと何となく実感できるけれども、これを累積にして何百億としてしまうとほとんど人事みたいになってしまって、現実味が薄れていくようなところも一方にはあると思えます。</p> <p>平成22年から平成47年までは25年間あるわけですが、それでも毎年7億円ずつの財源不足となると約180億円になります。</p> <p>そういった部分だけでも累積で出すのがいいのかどうかというところではないかと思えます。</p> <p>一般の方々に示すときには、やはり数字だけでなくグラフのほうが理解しやすいだろうと思えます。</p> <p>なかなか文章の中だけでは分かりづらいと思えます。</p> <p>もし何百億円の累積債務になったときに、この魚津市が耐えられるのかどうか考える必要があると思えます。</p> <p>夕張市の市長は、現在、月20数万円の手当てでやっておられるということですが、魚津市もそれくらい厳しい状況に置かれたときにどういうことになるのかということだろうと思えます。</p> <p>魚津市が、累積債務がどのくらいになるとどういう状態になるのかということ想定して、皆さんに示すことが必要だろうと思えますし、そうできないと説得力が無いと思えます。</p> <p>また、単年度でそれだけの債務があり得るのかどうか、その状態というのは地方公共団体として国からどのように見られるのかということもひとつの事例として示しながら、だからこのままでは駄目なんだということを説明していかないといけないだろうと思えます。</p> <p>じゃあ、どのようにしていかないといけないのか、ということ具体的に示されると、市民の皆さんもこのままでは駄目だなということで、具体的にどうすればいいかが見えてくると思えます。</p> <p>総論的にはなるほどと思えるのですが、誰が主体的に行っていくのかということこの中間取りまとめの段階では示すことができないのか、将来的には示していくのか、示すことができないのか、それは分かりませんが、30ページの下の方にあるように、民間で出来ることは民間でやっていただけるよう市と民間との役割を明確にする、とありますが、誰が明確にす</p>
---	--

<p>会長</p>	<p>るのか、市長なのか議会なのか、それともこの行革の委員会で出していくのかということ、将来的には出さないといけない時期が来るだろうと思いますので、今後、検討していったほうが良いと思います。</p> <p>今回は中間取りまとめということで、この委員会の中でも個々の施設についてこうしようという意思統一といいますか、意見をまとめたわけではございませんので、やや総論的な表現になってくるというのはご指摘のとおりだと思います。</p> <p>おそらくここで大切なのは、財政状況あるいは人口の状況というのを、まずは市民の方々にこの中間取りまとめを通じてご理解いただくと、そしてご自身の問題として捉えていただくというところなのかなと思います。</p> <p>それから、やはりこの委員会としては、総論的な部分のこの中間取りまとめを踏まえて、具体的な個々の施設についての道筋というのを示していくということが必要なんだろうと思います。</p> <p>総論的な部分であれば、事務局のほうでまとめて、市民の方にいかがですかというようなかたち、あるいは議会に対してどうですかというようなかたちになるだろうから、それではこの委員会の意義というのが、わざわざ時間を割いてお集まりいただいてご検討いただくところがないのではないかと思います。</p> <p>例えば、民間との協働にしてもそうですし、利用者負担の問題についてもそうですが、どの程度までかというのは難しいところはあるんですけど、やはり、個々の施設についての具体的な方向性、あるいはそのあり方というのを示すような形で次年度の最終的な提言にはまとめていければというのが、私としての考えですので、これはまた委員会でご議論いただければと思います。</p> <p>ただ、そういった提言をするにあたって、この中間取りまとめが中間ステップとして適切かどうか、あるいは付け加えるところがないかどうかというところをご議論いただければと思います。</p> <p>C委員のご指摘は確かにそのとおりですので、提言の段階では、委員会としてはこう考えるというところは明確に出さないといけないだろうと思います。</p> <p>数字の羅列はやはり、分かりづらいところがありますね。</p> <p>先ほどご意見のあった14ページの財源不足額ですけど、グラフで表現できればいいのかなと思います。</p> <p>ただ、累積で何百億円と言われても実感が伴わないと思いますので、グラフで財源不足は毎年のことなんだということをしっかりと伝えていただければいいのかも分かりません。</p> <p>それから、8ページについても、B委員からのご指摘のとおり、確かに</p>
-----------	---

事務局	<p>少し見にくいところがございますので、この辺りのことを反映させたグラフを全体整理のところなどで見せることはできないかということだと思います。</p> <p>出来るかどうか分からないまま言ってますが、是非、事務局のほうで一工夫いただければと思います。</p> <p>一方で、こういった厳密な数字というのをきちんと知りたいというニーズもあると思いますので、これはこれで出しておかれてもいいのかなという気もします。</p> <p>市民の皆様から意見をいただくわけですが、「はじめに」というところの中段でこれまでも行政改革集中プランに基づき色々な取り組みをしてきたというふうに書いてあるのですが、もちろん市のほうで集中プランの取り組みはホームページにおいて紹介はしておりますけど、今回、公共施設の見直しにあたってこれまでの行政改革の市の取組状況を、この「はじめに」のところ盛り込んだほうがいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。</p>
会長	<p>今ほどのご提案は「はじめに」というところで、魚津市のこれまでの行政の取り組みについて、少しスペースをとって書き加えるということですが、それについて何かご意見などございますか。</p>
A委員	<p>この公共施設の取組みを進めていくときには、先ほどC委員がおっしゃったように、市長がするのか、議会がするのか、我々がするのかということだと思いますが、最終的には市民の意識が変わってもらわないといけないと思います。</p> <p>サービスの低下はせずに、効率化を求めていくと一応言ってはいますが、それはいつまでも今のしてもらいたい放題のサービスというわけにはいかないという、こういった厳しい表現を一行くらいは入れておいてもいいのではないかと思います。</p>
会長	<p>この「はじめに」というところで少しメッセージを出しておいたほうがいいのかということですね。</p> <p>確かに、「はじめに」は若干間接的な言い回しになっていますね。もう少し直積的といいますか、明確な表現のほうがいいのではないかとということだと思います。</p> <p>もしご異論がなければ、そのような方向で少し検討いただくというふうに進めたいと思います。</p> <p>通常の間報告書とやや異なっているところは、「委員会での意見」をかなり生に近いかたちで載せているところだと思います。</p> <p>これについて、何かこういうことも入れておいたほうがいいのか、あるいはここは委員会全体としての意見として受け止められると少し困ると</p>

C委員	<p>いったようなところはございませんか。</p> <p>平成 47 年に向かって、いわば魚津市の経営計画を立てようという話だと思いますが、47 年にせめて単年度プラスマイナスゼロにしましょうという計画を立てないといけないといった場合に、これまで小学校をいくつにするとか、体育館をどうするとか色々話が出ておりましたが、今後、少子化になるわけですから小学校を減らすというのが一番手っ取り早い方法としてあるだろうと思います。</p> <p>じゃあ、いくつにしたら平成 47 年にはどれくらい財源不足が削減されるといったことを想定しないといけないだろうと思います。</p> <p>他の施設についてもそうですが、そういったシミュレーションを、せめて 5 年ごとに単年度ゼロを目指して指標を作ってみるというのもひとつの考え方だろうと思います。</p> <p>一番分かりやすいことは何かと考えたときに、魚津市全体の財政的な計画を立てるということだと思えます。</p> <p>数値として明確にこういう方向で行きますよ、例えば教育施設はこの方向ですよということを A 案、B 案などで示すことが大事なのではないかと思えます。</p> <p>平成 47 年の将来を想定して、こういうことをすればこうなりますということイメージとして作り上げるということが重要だと思います。</p>
会長	<p>それは、最終的な提言をまとめるにあたってご指摘いただいたようなことをすればいいということですね。</p> <p>今回、人口だとか財政の見通しというところを、全体取りまとめというかたちでかなり明確に数字を出していただいておりますから、やはり、提言をするからには今おっしゃられたように、じゃあこれで財源不足が解消するということが必要だと思います。</p> <p>もちろん、色々なシナリオ、想定がありますので、一概にこれでうまくいきます、あるいはこれでは無理ですということにはならないのですが、おっしゃられたようなかたちでの具体的な提言というか数字の部分も含めた詰め作業というのは必要なかなというふうに思いますので、今後の進め方というところでご検討いただきたいと思います。</p>
B委員 事務局	<p>3 月の下旬に中間取りまとめの公表、市民からの意見募集とありますが、どのようなかたちで行う予定でしょうか。</p> <p>そこが一番大事なところで、この資料をホームページなどで出しても市民の意見というのはなかなか出てこないだろうと思います。</p> <p>しかしながら、公共施設のあり方の見直しで一番影響を受けるのが市民の方々に、それぞれに地域に色々な施設がございますが、そういった意味ではこの中間取りまとめを市民の方、各地域の方に真剣に出るようなかた</p>

<p>会長</p>	<p>ちで意見を募集しないといけないだろうと思いますので、その辺の議論も今日お願いしたいと思っております。</p> <p>その点については、後ほど時間をとって議論したいと思いますが、この中間取りまとめについて、文言の修正などお気付きの点はございませんでしょうか。</p>
<p>B委員</p>	<p>いただいた資料を見て思うのですが、3ページの人口割合推計のところで3つの区分に分かれていますけど、生産年齢人口と65歳以上の老年人口に分かれていることから、老年人口は生産しないように見えるのですが、老年人口の中でも働いている方がおられますので、どこかにそういったデータはないのでしょうか。</p> <p>65歳以上の方でも、特にこれからがんばっていただきたいということで、もうひとつ色を追加できないものでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>私も別の自治体で同じことを言ったのですが、そこでは変わりませんでせいた。これは定義としてあるんですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>この区分は、国勢調査の区分で集計した結果ということになりまして、将来推計についてもそれにならって3区分にしたものであります。</p>
<p>C委員</p>	<p>B委員がおっしゃるような区分はなかなか難しいだろうと思います。</p> <p>財政状況での13億円の財源不足というのは、支出はこのままでとすると13億円の収入不足になるという理解でよろしいのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>収入部分で人口減少による財源不足が11億円、支出部分で高齢化に伴う財源不足が2億円ということになります。</p>
<p>A委員</p>	<p>色々なものを削減していく方向付けを市民の皆さんにご理解いただきたいということで検討を進めているわけですけど、市自体がこれまで職員を削減してきたことや、色々な合理化を進めてきた実態みたいなものを少し載せてみたらどうかと思います。</p> <p>例えば、よく世論なんかで国会議員も減らさずに国民に負担を求めるのはどうか、という意見が出ていると思いますが、こういったこともあってよく理解しやすい手法とすればそういうものも載せていったほうがいいのではないかと思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>私たち市民は、具体的に目で見えるものがなかったら、今までどおりだというふうに捉えてしまいますので、危機感を持ってもらうためにもこれまでの工夫してきた面というのを示していただければ、これまでこれだけやってきたんだというところが目に見えていいんだだろうと思います。</p> <p>それと、今回、この行革に携わったことで、他市とか他県の取組みが気になるようになりまして、この問題というのは全国的な問題であるということが分かりました。</p> <p>全国的に少子高齢化が進んでいるので、色々な工夫をしておられるのを</p>

<p>会長</p>	<p>参考にしたいと思ひますし、公共施設を取り上げて個々を考へるのではなく全体を考へないといけなひと思ひます。</p> <p>また、女性ひ目の前の財源のマイナスというのをすごく気になります、行政の予算というのは複雑ですので、一般市民が見て分かるようなものがあればいいのではないかと思ひます。</p> <p>やはり目に見えるかたちで分かりやすいものが一番だということですね。</p>
<p>E委員</p>	<p>目に見えるかたちということひえば、例へば47年までに学校がどれだけ必要なのか、あるいは市庁舎の修繕や建替えにどれだけ必要だとかということを目に見えるかたちで出せばより具体策が出てくると思ひます。</p> <p>また、そうなれば順位付けということにもつながると思ひます。</p> <p>今のように並列的に並べられても、じゃあどうするんだという話になるかと思ひます。</p>
<p>会長</p>	<p>ただ、この委員会ひその順位付けまでするかどうかは分かりませんが、確かにいずれは手をつけるということになれば、どこを優先してやらなひといけなひというところは考へていかなひといけなひと思ひますので、そのためにもきっちり現状を示して、市民の意見も、あるいは市民の理解も得ながら進めていくというところは大切だと思ひますので、出来るだけそういったところを提言には反映させていきたいと思ひます。</p> <p>ほかに中間取りまとめについて何かござひますか。</p> <p>お時間があれば、また改めてご意見をいただくというふうにしていきたいと思ひますが、今日いただいたご意見のうち、今回の中間取りまとめにすぐ反映させられるものは、出来るだけ事務局のほうで手を加えていただいて、修正をしていただくというふうひさせていたひきたいと思ひます。</p> <p>それから、いただいたご意見のなかには、これから提言をまとめるにあたって我々がどのようなスタンスで提言をまとめていかなければならないかといったご意見もいくつかあったように思ひます。</p> <p>その点については、次年度のこの委員会ひでの取りまとめの指針にしていきたいと思ひますし、いくつかの視点も出てきましたので、そこについてはこれから委員会を開催するにあたり、例へば事務局からご提供いただく資料等で十分反映というか配慮いただひてご用意いたひきたいと思ひます。</p>
<p>事務局 会長</p>	<p>概要版についてもこれでよろしいでしょうか。この概要版が一番市民の目に触れるものですよ。</p> <p>そうなると思ひます。</p> <p>本編を修正すると、この概要版も修正するところが出てくる場合もあると思ひますので、その点については修正いただひたうへで公表するという</p>

		<p>ふうにしていただければと思います。</p> <p>本当はもう一回お集まりいただいて検討すればいいとは思っていますが、年度内に公表というスケジュールもごございますので、修正点等につきましては事務局でよくお考えいただいたうえで修正案を示していただいて、修正の是非につきましては私に一任ということでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜委員了解＞</p> <p>それではそのように進めさせていただきたいと思います。</p> <p>先ほどご意見が出ました、今後の進め方でございます。</p> <p>今後というのは、この中間取りまとめを公表いたしまして、市民の方々からご意見を聞き、提言を取りまとめていくという大きなスケジュールがあるわけですが、その意見の聞き方、あるいはタイミングについて考えていきたいと思います。</p> <p>事務局のほうで進め方のイメージみたいなものはございますか。</p> <p>特にはございませんが、市民の方にもしっかりと見ていただいて意見を積極的にいただけるようにできないかなと思っております。</p> <p>また、スポーツ関係や文化関係に関わりの深い団体等もごございますので、そういったところからも意見をいただかないと、この後、市民の意見をいただいて進めていくというところがなくなってくるので、一方的に公表するのではなくて、積極的に意見をもらえるようなかたちでできないかと思っております。</p> <p>公共施設を主に検討するわけですから、利用者の方々がいらっしやっというところで、関連する団体などから意見を聞くというのは、ある意味ヒアリングのようなかたちでできるかと思います。</p> <p>それは、今のところしていくということでよろしいでしょうか。</p> <p>あくまで個人的な思いでありますので、実際のところは分かりませんが、いずれにしても団体の方に読んでいただいて意見をいただきたいということでございます。</p> <p>一番メインとなるのは市民の方々であります。市民の方も全ての公共施設を利用するわけではないかと思いますが、やはり魚津市民として、税金も支払っていますし公共サービスも受けておられるということから、そういった方々の意見を聞くというところで、パブリックコメントよりも少し踏み込んだようなかたちというのは考えられますか。</p> <p>例えばアンケートみたいなものとかはやろうと思えばできるのでしょうか。</p> <p>一般市民については、まとめた内容を広報などで案内して、詳細についてはホームページなどでご覧いただいて意見をいただければというふうに考えております。</p>
	事務局	
	会長	
	事務局	
	会長	
	事務局	

<p>会長</p> <p>A委員</p>	<p>次年度に提言をまとめるにあたって、当然、この段階で中間取りまとめを出して市民の方々に見ていただいて、それに対する意見をフィードバックしていくかたちで提言をまとめていくと思いますが、その時にどういったかたちで意見を聞けばいいか、あるいはそれをどのように反映させていくかという点について、何かご意見などございませんか。</p>
<p>A委員</p>	<p>プロセスとすると、今の段階でこの中間取りまとめを公表すると、それでまたこちらからボールを投げて返ってくるのを待つということなんでしょうけど、現実的には、例えばPTA関係や各団体としてみれば、だからどうするんだというところを出してもらわないと、そういった団体からなかなかこうしましょうよということは出てこないというこのジレンマみたいなものがあると思います。</p> <p>そういったために、ただ時間だけが経過していってしまうという結果になるのではないかと思います。</p> <p>今後、対応策だとか方向性といったものが出てくるのかもしれませんが、そういうところまでいかないとなかなか前にすすまないのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>我々としてひとつ提言をまとめたあと、それを実行するにあたってというところでご意見を聞くというかたちもあると思います。</p>
<p>C委員</p>	<p>A委員がおっしゃったとおりだと思います。</p> <p>いわゆる各種団体へ説明し意見を求めるのかという話になっていくのかもしれませんが、いかにしてこの委員会で交わしているような話を各種団体へも価値観を共有していただけるかというところだと思います。</p> <p>各種団体にしても、そういった議論を各種団体のなかでしていただくということも大事だと思います。</p> <p>魚津市民として魚津を愛する方々の中でも、色々考え方はあると思うのですが、このままでは平成47年にはこういう状況になるんですよということを説明して、じゃあどうすればいいんだろうということを考えていただき、良い知恵を出していただきたいと思います。</p> <p>行政側と相手側というやり方では、対立が生まれるだけだと思います。</p> <p>サービスを低下させないためにはどうすればいいかということを一緒に考えましょう、といったように、市民と同じ目線で考えるという方向をどうやって作っていけるかだと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>確かに、中間取りまとめを見て意見を聞かせてくださいといっても、意見はなかなか出てこないでしょうから、こちらから積極的に意見を求めていければいいのではないかと考えております。</p>
<p>F委員</p>	<p>4年ほど前に学校規模適正化計画を作ったときには、教育委員会が地区を回って住民説明会を行っていました。</p>

<p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>その後、公民館を中心に意見を出し合ってくださいというやり方をしていました。</p> <p>そういった手法というのは難しいのでしょうか。</p> <p>あと、当時、説明会のあとにPTAでもPTA会員向けのアンケートを行ったりしたのですが、それから年数が経過していることもあって、最近改めてアンケートをとったところ、計画の内容を把握している方というのが5割、把握していない方が5割という結果になり、計画が風化しているという状況だと分かりました。</p> <p>また、意外と多かったのが、このままでいいという意見が多くて、PTAのほうでこれまで色々と議論を交わして盛り上げてきていたのに、その計画の内容が次の世代に伝わっていないというのが残念でした。</p> <p>今の親というのは、自分の子どもだけを中心に考えている傾向が強いことから、そういった計画の内容も伝わっていないというのが現実として出ています。</p> <p>中には、何度も統合したりして進めていくのはストレスを感じるから、もっと長いビジョンでやって欲しいという意見も結構ありました。</p> <p>こういったアンケートをまとめること自体も、PTAの役員で行っており、集約するのも大変だと思いますので、そういった方から出た意見としては、やはりみんなの意見を集約してもひとつの意見にはまとまらないので、ある程度トップダウン的な手法で行政から示していかないとこの問題は進まないのではないかと思います。</p> <p>そういったことから地区などでの説明というのは必要かと思いますが、その際には数字ではなくてパワーポイントなどを使って映像で説明していけば頭に入っていくのではないかと思います。</p> <p>若干遅くなりますが、7月に市長と語る会などもございますので、市民に説明していく機会がございます。</p> <p>何をどこまで、どのタイミングで、誰に対してというところは、やはり難しいところはあると思いますが、少なくとも、今回の中間取りまとめは一人でも多くの方に目に触れるようなかたちで、出し方を工夫していただきたいというところがございます。</p> <p>それから、提言をまとめる段階であっても、できれば先ほど事務局からお話があったようなかたちで、何らかの市民から意見を聞く機会というのは設けていただければというふうに思いますし、この段階でそれほど具体的な提案があるわけでもございませんから、意見を聞くというところで、聞かれたほうもなかなか難しいところがあるのでしょうか、ただ、これからやっていきたいので一緒に考えてください、というかたちでのメッセージの投げかけ方というところで、関係する団体の方々にもご意見を聞い</p>
----------------------	--

	<p>てはどうかと思いますので、その辺りを、我々が提言をまとめるまでの段階で工夫できるところはしていただければと思います。</p> <p>ひとつかたちのあるものとして提言をまとめたあと、これをどう活かしていくかというのが、やはりこれから次年度の委員会でも考えていくことだというふうに思います。</p>
C委員	<p>魚津市は1町11村が合併して出来たわけですが、こういった話を校下単位で行っても絶対まとまらないと思います。</p> <p>ですから、魚津市民として話を聞いてください、というふうにしないと、校下のなかで説明をしても、校下の枠組みのなかだけの話しか出ずに、話が進まないという気がします。</p> <p>そういった市全体の話にいかにか持っていけるかが、この行革の要のような気がします。</p>
F委員	<p>学校の問題についても、これまで校下で話をしていたので全然前に進まない状態でした。</p> <p>ですから、例えば新川文化ホールなどで学校適正規模に関するシンポジウムじゃないですけど、そういったかたちで公開して、終わった後にアンケートを書いてもらうとか、市全体で考えないと絶対に前に進まないと思います。</p>
会長	<p>意見を聞くといっても、ただ意見を聞けば済む話でもないもので、それを実際に活かしていかないといけないですよ。</p>
B委員	<p>学校関係はPTAの役員に集まっていたいただいて状況を説明し、どうやって進めていくべきか話をしていただければいいでしょうし、体育関係であれば体協で話をしてもらい、また、各地域については、自治協議会で話をしていただければどうでしょうか。</p>
G委員	<p>自治会は13校下にあるわけで、自治会の会長などは各地域の代表ですから、なかなか話はまとまらないだろうと思います。</p>
会長	<p>色々なかたちで、色々な経路を通じて意見を聞く、また、それがそれぞれの地域の代表、あるいは各団体の代表というところから一步上がっていただいて、魚津市民として意見を聞かせていただくということが大事だろうというところは、この委員会での共通のご意見だと思います。</p> <p>タイミングといいますか、我々の進め方として提言を取りまとめて、提言をまとめると提言自体は委員会を離れるわけですけど、その次の段階として、今お話いただいたような様々なかたちでのご意見を聞く、説明するというようなやり方というものひとつあると思います。</p> <p>それから、私たちが提言をまとめる際に、色々なかたちでのご意見を聞くというやり方もひとつあると思うんですけど、その辺り、先ほどはやはりある程度具体的なものを出さないとなかなかキャッチボールは出来ない</p>

A委員	<p>というご意見もいただきましたし、そうはいうけれども、やはり今回の中間取りまとめを踏まえて色々なかたちでご意見をいただきたいというところもあったと思います。</p> <p>その辺りの進め方みたいなものについて、何かアイデア、あるいはご意見ございますでしょうか。</p> <p>お一人お一人の意見は大切だというこの民主主義の原則は原則として、一方には、どこかでメッセージを出して、とにかくその方向に行くんだということで、世論を牽引していくということが、例えば首長とかにはそういった役割というのはあるだろうと思います。</p>
会長	<p>このレベルの内容で球を投げて返ってくるのを待つ一方で、メッセージを出してしまうという手法も効果的ではないだろうかという気がします。</p> <p>この委員会として提言を出して、それを踏まえて色々な方々からご意見を聞いて、そこはもう委員会の手は離れるのですが、市長あるいは議会で具体的に進めていただくというスタイルというのがひとつあるのではないかというお話だったか思います。</p> <p>今後の意見の聞き方、あるいは反映のさせ方ということで色々ご議論いただいたわけですが、まずはこの中間取りまとめについて、お一人でも多くの市民の方々に読んでいただきたいというところは、当然のことです。出来る限り多くの人の目に触れるようなかたちで工夫をしていただくということを、是非、事務局にはお願いしたいと思います。</p> <p>それから、次年度以降、提言をまとめていくにあたって、より一歩踏み込んで意見を聞きながらそれを検討に反映させていくのか、もちろん必要があればそういったかたちで意見を聞くこともあるでしょうけれども、まずは私たちの委員会のスタンスとしては、我々で検討したひとつのメッセージというのを、より良いメッセージを出せるようにこの委員会を継続して次年度以降活動していくということになるかと思います。</p> <p>それを踏まえて、関係団体の方々、あるいは市民の方々にもご意見をいただき、それが実行につながるようになればいいと、そういうふうな方向で進めさせていただきたいと思います。</p> <p>ただし、その際には対立関係というのではなくて、やはり、それぞれ市民が自分の問題としてこういった問題を考えていただけるような議論を意識しながら進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜委員了解＞</p> <p>具体的に何をどうするというところはこれから色々と考えていかないといけないでしょうけど、基本的にはそういった方向で進めさせていただきたいと思います。</p> <p>これは大変大きな問題になってくると思いますので、その辺り、私たち</p>

10 : 33	事務局	<p>が責任を持って議論していくというかたちでやっていきたいと思います。</p> <p>それでは、本日予定しておりました議題が終了いたしました。その他何かございますか。</p> <p>次回のスケジュールについてでございますが、事前に委員の皆様には日程の確認はしておりませんが、可能であれば本日、次回の委員会の日程を決めさせていただけないかと思いますがいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜委員了解＞</p> <p>それでは次回の委員会でございますが、事務局からの提案として、5月22日（水）の午後2時はいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜委員了解＞</p> <p>それではその日に開催したいと思います。</p> <p>会場等詳細につきましては、改めてご案内させていただきます。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
	会長	<p>それでは、これもちまして第6回委員会を終了します。</p> <p>本日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上終了</p>